

プロンプトエンジニアリング
は死んだのか？
“AIへの呪文不要論”
がささやかれるワケ

23161078 宇藤悠貴

プロンプトエンジニアリング

- ▶ 生成AIから望んだアウトプットを得るために、最適な指示を考え、インプットする技術「**プロンプトエンジニアリング**」
- ▶ 生成AIの普及にあわせて大きな注目を集めるようになり、そのスキルを保持・実行する人物は、「**プロンプトエンジニア**」という職業として確立されるに至った

プロンプトエンジニアリング が必要だったワケ

- ▶ プロンプトが少し違うだけで、**アウトプットが大きく変化**してしまう
- ▶ 何が**適切な言い回し**なのかを調査したり、その知識に従って**正確なプロンプト**を入力したりすることが極めて重要

なぜプロンプトエンジニアリングは不要になるのか？

- ▶ AIモデル自体が進化し、曖昧な指示やスペルミスに対応、必要に応じてユーザー側に問いかけたりするように
- ▶ 「AIエージェント」自律的に機能するAIアプリケーション
 - ▶ 「来月の出張用の航空券と宿泊先を手配して」 → スケジュールを把握して各種の予約を完了してくれる
- ▶ 生成AIの普及により、専門職としての存在が薄れていく

反論意見も

- ▶ 「**AIの高度化**により、プロンプトエンジニアリングの重要性は逆に増している」
- ▶ 「最先端のAIは高度な推論能力を持っており、それを**効果的に活用する**には精密な指示が必要になる」
- ▶ 「一度実行すると、後から『修正』するよりも『最初からやり直す』必要があることが多く、**初期指示の精度**が重要」

「プロンプトエンジニアリング」 の意味の変化

- ▶ 意見を整理するとどちらも、AIモデルが進化し、**ささいな言い間違いを気にする必要がなくなったこと**は否定していない
- ▶ 「**魔法の呪文を覚え、正しく詠唱する**」という意味でのプロンプトエンジニアリングは不要になったが「**こちらの意図を正しく伝え、過不足なく目的を達成するための指示**」を考えるとという意味でのプロンプトエンジニアリングは、**まだまだ必要**

コメント

- ▶ 「プロンプトエンジニアリングは死んだのか」という話題だが、実際には「形を変えた」というのが正しい。昨年までは“完璧な指示文”を書くスキルが重視されていたが、今やAIとの対話的な創造プロセスへと変わってきている。
- ▶ 確かに細かい指示は不要になりつつある。むしろ背景や意図、目的などを明確に伝える方が効果的。なぜならAIエージェントはゴール指向で作業を計画するから。作業指示から計画指示に変わっただけで、依然としてプロンプトエンジニアリングは有効。

感想

- ▶ もうプロンプトエンジニアリングは必要がなくなっただと思っていたが、この記事を読んでまだ活躍できる機会はあると思うようになった
- ▶ 実際にAIに「〇〇文字以内でまとめて」と何回指示を出しても文字数を超えてしまうことがあって、どう伝えればいいのか分からないときがあった